



# たかぎ 議会だより

No.101 令和5年4月

P2~7 新年度予算

P8 令和4年度補正予算審議

P9 議案審議内容

P10 総務産業建設常任委員会  
社会文教常任委員会

P11 議会モニターとの懇談会

P12 議員と語ろう会

P13 一般質問

P14 この村でがんばってます

～ コロナ禍の封印が解け 躍動する阿島獅子 ～



# 一般会計当初予算 40 億円

繰越額 1 億 1,000 万円を加え  
総額 41 億円余

たかぎ保育園など大型事業完了に伴い  
前年比 13% 減

令和 5 年度に取り組む重点項目

- ① 関係人口の創出と住民活動の再興
- ④ 災害に強いむらづくり
- ⑤ 地域経済活動の促進

## 関係人口の創出と住民活動の再興

### 関係人口創出事業

1,545.4 万円

関係（つながり）人口を創出するため、サテライトオフィスやお試し移住住宅の整備、北保育園跡地活用を行う。

Q サテライトオフィスの概要は。

A 中原のたかぎ保育園西側の宅地造成の北側 1 区画に、サテライトオフィスの建設を予定している。加えて利用者の宿泊ができる施設としてシェアハウスの建設も考えている。今後様々な分野、企業などから情報を収集しながら進めていく。

Q お試し住宅に予定している物件は。

A 活用可能な空家 61 軒に対しアンケートを実施中。その結果を受け進めていく予定。

### 喬木まつり(仮称)事業

622.7 万円

従来の総合文化祭・ふるさと祭りに代わる新たな事業を実施する。

### ふるさと納税関係経費

7,588.5 万円

ふるさと納税へのお礼品、寄付情報管理システム等寄付受付のための経費

寄付総額 1 億 5,000 万円を見込む

### むらづくり推進経費

1,832.6 万円

各地区の自発的な活動の支援や村づくりに関する意見交換会を実施する。

Q 村づくり村民意見交換会について意見聴取の対象年齢は。

A 中学生以上を考えている。詳細についてはこれから詰めていく。

### 公民館運営経費

514.9 万円

公民館事業の企画運営と公民館活動の今後のあり方を検討する。

Q 公民館あり方検討委員会の経過状況は。

A 現在公民館運営審議会において検討を行なっている。各部において意見聴取を行なっている段階。住民アンケートなどの結果も踏まえながら今年の 9 月頃を目処に答申案を作成する予定。

### 阿島傘プロジェクト推進経費

39.6 万円

阿島傘を P R するために阿島傘関連の製作体験イベントを開催する。

Q くりん草、阿島傘、曙月庵などに携わっている方々の後継者への不安がある。これらの相談窓口は設けられないか。

A 村にある活性化団体の状況については、NPO たかぎより報告を受けている。それぞれの活動を直接行政サイドが行なうには限界がある。住民が当事者意識をしっかりと持って取り組んで頂くしかない。

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| 国民健康保険特別会計  | 5億4,000万円 (前年8%増)  |
| 後期高齢者医療特別会計 | 9,300万円 (3.3%増)    |
| 介護保険特別会計    | 8億6,500万円 (1.8%増)  |
| 水道事業会計      | 3億8,900万円 (38.3%増) |
| 下水道事業会計     | 5億4,000万円 (8.4%減)  |

**予算総額**  
**59億9,000万円**  
**可 決**

- ②子育て支援と移住・定住促進      ③ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組み  
⑥DXによる住民サービスの向上      ⑦新時代を支える社会基盤の整備と景観形成

## 子育て支援と移住・定住促進

### 宅地造成事業

2億256.6万円

帰牛原中原地籍及び中央保育園跡地における住宅用分譲地整備等を行う。

たかぎ保育園西側へ10区画、  
中央保育園跡地へ5区画の整備

### 保育所関係経費

(中央保育園解体工事)  
(保育システム導入)

4,026万円

356.4万円

Q 保育システムの活用内容について

A 新しい配信方法についても考えているが、まずは保育士の負担軽減を念頭に考えていきたい。

### 子育て支援事業

(こども家庭センター設計監理委託料) 270万円

こども家庭センターの整備を進めることで母子保健と児童相談窓口を一本化する。

Q こども家庭センターの詳細は。

A 国の示す組織体制に則り計画を進めていくが詳細についてはこれから示される。現在の職員体制のもと進めていき、その際は兼務を考えている。

### たかぎ保育園運営経費

送迎バス購入費

1,000万円

たかぎ保育園に通園する園児を支援するためバスを購入し園児の送迎を行う。

Q 村民バスと保育園の送迎バスとの関連付けは。

A 基幹部分については新たな専用バスを整備する。対象が広範となることから村営バスも利用していきたい。

### 母子衛生関係経費

(不妊症・不育症治療費助成金) 50万円

不妊症・不育症治療費助成金の対象範囲の拡充（保険適用の治療や診察も助成対象）を行う。

## UIJ ターン推進事業

### 移住支援金

200万円

東京圏等都市部からの移住を促進するため、移住支援金の子育て世帯加算を拡充する。

### 定住促進就業祝金

125万円

卒業後村に居住し就労した方へ1人あたり5万円の祝金支給（令和4年度は20名に支給）

### 奨学金返還助成金

100万円

飯田下伊那地域以外の高校大学へ通学し奨学金の貸与を受けた方で喬木村にUIJターンした方の奨学金返還額の助成を行う。

### 出産・子育て応援事業

350万円

妊娠（出生）の届出を行った世帯に対し、出産・子育ての負担軽減を図るために応援給付金を給付する。

出産応援ギフト  
(妊娠届時 / 妊婦1人当たり5万円相当)  
子育て応援ギフト  
(出生届時 / こども1人当たり5万円相当)

# ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組み

## 脱炭素・循環型社会推進事業（再生エネルギー最大導入計画）

1,320万円

地域脱炭素実現に向け村全体のエネルギー消費分析、CO2 排出量推計を今後の脱炭素施策展開の指針とするため、地球温暖化防止計画区域施策編（兼再生エネルギーの最大導入計画）を策定する。

## 庁舎管理経費（太陽光発電設備）

2,002万円

役場庁舎議会棟の屋根に太陽光発電設備を設置するための経費

光熱水費削減への足がかりとなるか期待

# 災害に強い村づくりの推進

## 災害対策費

（排水ポンプ車購入）

5,500万円

災害への備えを進めるため排水ポンプ車（8 t 車）を購入する。

## 防災施設管理経費

（同報系防災行政無線操作卓改修）

5,175万円

避難情報や火災情報などの防災情報を確実に伝達するため、同報系防災行政無線操作卓改修を行う。

**Q** 排水ポンプ車の購入について、以前から要望があった経緯があるにもかかわらず、何故このタイミングの購入となったのか。

**A** 排水ポンプ車については以前より検討を重ねてきた。国、県とも協議をしてきた経緯もある。現在町村で排水ポンプ車を配置している所はない。しかしながら、喬木村は伊久間に限らず堰下、田中下など想定される危険な箇所が多いことと、緊急時に他を待つ時間的な猶予がないことなど、過去の災害対応の経過を踏まえて決断に至った。

操作卓のパソコンが導入から10年経過したことによる更新。音声合成装置の追加等機能強化を図る費用を計上。

**Q** 災害協定が結ばれている業者との関連はいかがか。

**A** 現在3社と協定が結ばれている。伊久間、堰下、田中下と広範にわたる災害も想定され、協定に基づいて対応が行なわれるものとする。また、複数箇所での災害が想定される場合には、今回導入する排水ポンプ車に加え、従来通り国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所に排水ポンプ車の派遣要請も行っていく。

## 近年の排水ポンプ車の派遣要請状況

令和元年 10月12日～15日

台風19号による天竜川増水により伊久間地区に配備

令和2年 7月6日～13日

7月豪雨に伴う天竜川増水により伊久間地区に配備

令和3年 8月14日～15日

8月豪雨に伴う天竜川増水により伊久間地区に配備。甚大な被害地域への配置転換により、以降地元建設業者による排水作業、地元区役員、消防団による土のう設置が行われた。



## 地域経済活動の促進

### 新規就農者育成総合対策

1,400 万円

新規就農者の経営発展のための機械、施設等の導入支援及び定着を目的とした資金交付を行う。(国庫事業)

### 農業振興事業補助金

367 万円

農業生産額の向上や災害共済等の加入促進、次世代の農業担い手の確保・支援するための補助経費

### 地域活性化関連事業補助金(商品開発改善事業創設)

150 万円

新たな商品開発、販売方法の改善、販路拡大、業務点検に対し支援を行う。

### 商工業振興経費

(創業支援制度創設)

300 万円

新規創業者に対して起業支援のため補助金を交付する経費

創業初年度に40万円  
2から3年度は30万円  
合計100万円を上限として  
補助する。

## DX(デジタルトランスフォーメーション)による住民サービスの向上

### 庁内情報機器関連経費

うち 自治体 DX 推進

493.5 万円

LoGo フォームを活用したデジタル窓口の導入や、LINE による情報発信を実施する。

### 企画財政システム関連経費

3.3 万円

契約締結までの事業者との事務手続きや契約書を電子化するシステムの導入を試行する。

### 戸籍住民基本台帳経費

うち マイナンバーカード

250.3 万円

マイナンバーカード普及促進に関する経費(1,000 人分の商品券)

### 徴税賦課事務経費

(電子納付・電子申告)

252.6 万円

各種税金の電子納付の実施と軽自動車税・たばこ税の電子申告の実施

マイナンバーカードを活用することにより転入・転出手続きのワンストップ化を図ることや、スマートフォンを利用した行政手続きの効率化を図ることが可能となった。

## 電気代の値上げ、物価高騰の中で村政運営への影響は

村の一般会計における光熱水費は、令和4年度当初では約4,200万円だった。主に電気代の高騰により12月補正時点で約5,000万円となっており、令和5年度当初予算では約7,200万円と、前年度比3,000万円の増となっている。この増加分に対する収入及び削減見込みについては、国は自治体施設の光熱費の高騰を踏まえ、普通交付税で700億円を措置するとしている。この措置を受け、来年度の村の普通交付税の当初予算は、地方財政計画により前年度比1.7%、約2,900万円の増を見込んでいる。来年度当初予算では必要となる事業について適切な予算編成を行っていきたいが、今後も物価高騰が続くとすると、必要となる経常経費は維持しながらも、投資的経費や補助金等の見直しを検討せざるを得ない状況も考えられる。財政運営の大前提である、収入が確保された上で支出が可能となることを職員一人ひとりが再認識するとともに、最小の経費で最大の効果を上げることを今まで以上に念頭に置きながら、行政運営を進めいく。(議員一般質問より)

# 新時代を支える社会基盤の整備と景観形成

## 土木管理経費

1,050 万円

新残土処分場測量設計、舗装個別設計計画作成を行う。

### Q 新残土処分場はどこか

A 具体的には決定していない。各区から上げられたいくつかの箇所について今後調査を行ない決定していく。

## 道路橋梁新設改良経費

5,730 万円

村道 3 号線の道路改良工事を行う。

### Q 高齢者の居住している家が 1 軒河川と挟まれたように残されているが、移転等の調整は出来なかったか。

A 公安委員会や長野県との交差点協議、河川協議を経てあのような方線となった。なお、地権者に事前に了解は得ている。

## 森林造成事業（森林整備等補助金）

500 万円

国県補助金を受けて実施する森林整備について所有者の費用負担軽減を図るため村の私有林整備補助を標準経費の 30%以内に拡充する。

## 道路橋梁維持管理経費

8,927 万円

橋梁点検計画作成するほか、菅沼橋の補修工事等、道路橋梁の維持管理を行う。

## 道路橋梁新設改良経費

（前年度予算繰越）

8,511.2 万円

村道 620 号線（竜東一貫道路伊久間地籍）の道路改良工事を行う。

## 森林経営管理事業

1,630 万円

アルプスの丘公園周辺の私有林整備を行うことで良好な景観形成を図る。

### Q アルプスの丘公園周辺の景観整備について

A 保安林指定地は伐採率（25%）が定められている。所有者ほか関係機関と調整のうえ、上部域の高木の支障木を中心に伐採していく。急傾斜指定地、土砂災害警戒区域も含まれるので課題は多い。

# 予算審議の中で出された主な質疑

## 財政調整基金等管理経費

2,086.4 万円

リニア・三遠南信自動車道関連活性化基金の積み増し 1,365.3 万円  
 福祉基金の積み増し 300 万円  
 基金利子の積立 421.1 万円

### Q 村として確保すべき財政調整基金の適正規模は。

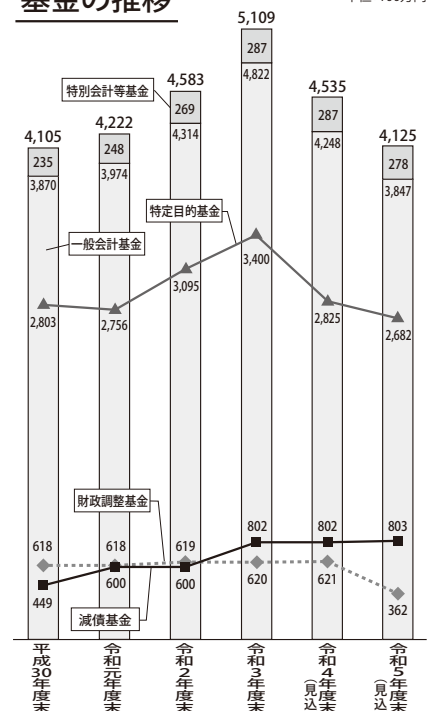
A 標準財政規模の約 1 割と言われている。喬木村の標準財政規模は約 30 億円なので 3 億円が妥当な数値。交付税算定とも関係することから適正範囲での運用が望ましい。新型コロナ、物価高騰など先行き不透明な状況が続いていることから一定の額の確保は重要。

### Q 臨時財政対策債をもう少し有効的に使えないのか。

A 臨時財政対策債は交付税の不足を補填するために使うもの。発行額は国が決めるもの。国の方針に則り、村の臨時財政対策債も減額としている。

## 基金の推移

単位：100 万円



**徴税賦課事務経費** 2,636.5万円  
**うち北部共同航空写真撮影** 471.9万円

固定資産税の課税評価のための情報収集の費用

**Q** 北部共同航空写真撮影についてこれに至った経過は。

**A** 共同で事業を行なうことのスケールメリットを図るとともに、様々な方法を検討する中でこの方法に決定した。固定資産税の課税にあたっては現況課税が原則である。効率的に情報を得るために航空写真によるものを選択している。

**庶務事務経費** 4,064.8万円  
**広域連合等に対する各種負担金** 977.5万円

**Q** 広域連合等に対する各種負担金がある。エスバードについて、これまで航空産業に投資してきたが、三菱重工の航空産業撤退の影響は今後どうなるのか。

**A** 三菱重工の航空産業撤退は地元においても衝撃を与えた。航空宇宙産業は、日本の企業の撤退があろうとなかろうとこれから益々発展する分野である。その需要は衰えないだろうといわれている。

今後の事業展開における費用負担については、大学誘致もあわせて今後の地域作りの為の初期投資として理解頂きたい。

**ふるさと会事業** 195万円

**Q** 関東、東海両地区開催の詳細は。

**A** コロナの影響で開催が出来ていなかった。本年については各地区と検討の結果、東海地区は6月25日。関東地区は11月23日に開催することで決定した。現時点では、伝統芸能などはやめ縮小した内容で計画している。

**観光振興経費** 273.5万円

**Q** 南信州リゾートへの出資金100万円の詳細は。

**A** 天竜船下り事業継承にあたり、出資総額2,000万円を準備したいという意向を受け、広域連合において検討し、飯田市が700万円、北部の町村で松川、高森が200万円、その他が100万円、ライン下り上流沿線町村で50万円。広域観光の位置づけの基に出資していく。

**遊休農地対策事業補助金** 177万円

**Q** 城原地区の再開発の現状は。

**A** 太陽光発電を利用した農地利用の計画が報道されたが現時点での進展はない。

## こども家庭センターについて

**Q** 岡山県奈義町は出生率が2.95、喬木村は1.7。喬木村の財政支援とはあまり差がない。むしろ喬木村の方が手厚く感じている。今後、子育てを総合的にバックアップしていく環境作りが大切であると考えがどの様に考えるか。

**A** 子育て世代が安心して暮らせる環境作りの為の制度。現在ある学遊館は手狭で様々な課題を抱えている。一時預かりも実際は保育園でも行なっている。職員不足も課題のひとつではあるが、実際利用者は少ない。設計にあたり、様々な意見を聴取する中で進めていきたい。

**廃棄物処理事業** 2,628.9万円

**Q** プラごみ排出の変更点は

**A** 現在、資源プラと燃やすごみの2種類に分けている。令和6年度から、プラ使用製品ごみは、資源プラと一緒に回収することとなる。

## 上下水道の整備について

**Q** 民間事業者が宅地を造成整備する場合、水道管の布設工事は事業者負担で行うこととなり、そのことが民間開発の妨げとなっていると聞く。その点今後村からの支援は考えられないか。

**A** 道路開発計画がない中で、民間による宅地造成については従来通り事業者負担で対応する。上下水道料金にも影響する案件であるので慎重に対応したい。

## ハザードマップについて

**Q** 壬生沢川の浸水想定についてハザードマップに反映させるのか。

**A** ホームページには掲載されている。印刷については国の動きに合わせ令和6年度となる見込み。公表されている数値が最大雨量800mm/1日という数値である。

本定例会において審議された補正予算は、実績に基づく年度末精算によるもの。また、歳入では地方交付税の確定分を増額補正し、財源が確保できたことから福祉基金繰入金を減額。また、歳出では、大雪に伴う除雪費、村道620号線舗装修繕工事、電気料の高騰に伴う各施設の光熱費の増額等について計上。

## 有害鳥獣駆除事業について

Q 減額の理由は被害が減っているのか。

A 捕獲実績に対しての補助のため、捕獲頭数が減っている。以前と生息環境が変化して捕獲が難しくなったためと思われる。被害が減っているわけではない。

## 村単農業施設改良事業減額について

Q 不用減の額が多いが他の工事に充てられないのか。

A 計画をしていた阿島北井水リニア関連工事がリニア工事の遅れからと土井場沢への流量調整を次年度計画している為、本年度は減額としている。

## 道路橋梁新設改良費減額について

Q 社会資本整備事業と村単道路改良事業の不用減額が多いがなぜか。

A 加々須大橋の点検を行ったが大きな修繕の必要がなかった。南農事集会所前の道路拡幅工事では当初予定していた延長距離が短縮されたため、不用減となった。

## 訪問型・通所型サービス事業の減額について

Q デイサービス等の休業による減額とあるが、住民の方々の影響はいかがか。

A 通所型ではコロナ感染、または恐れがあるなど利用を差し控えた、事業者の休業をきっかけに利用を控える方が増えた。このような皆さんに訪問や声掛けを行い介護予防に努めていく。

## 介護サービス等関係費について

Q 居宅介護サービス関係が減額、同額の施設介護サービス関係費の増額とあるが。

A 施設介護サービスのショートステイが増加しており、居宅介護サービスとショートステイ等を組み合わせた形が増えてきている。在宅をしながら施設サービスと両立していると理解してもらいたい。

## 脱炭素・循環型社会推進事業について

Q 事業の採択がされず不用減となっているが、来年度以降の取り組みは行うか。

A 前年より申請団体が多く不採択となった。国補正予算分に対し改めて申請を行う。

## 商工業振興経費の減額について

Q それぞれの補助金等が減額となっているが、特に商工業物価高騰対策支援補助金が多いが、どの様な実績かまた、地域活性化商品券事業と飲食店消費活性化商品券事業の状況はいかがか。

A 商工業物価高騰対策、商工業経営支援、製造業等緊急支援の3事業については、どの事業に申請があるか予測が難しく、それぞれについて大きな枠を設けた為不用減となった。特に商工業物価高騰対策につきましては、売上高の減少割合が10~20%、従業員1名付き1万円等とした条件で申請件数が少なく大幅な減額となった。

## 利用状況

|                |           |
|----------------|-----------|
| 企業経営向上支援交付金    | 申請7件      |
| 事業継続支援給付金      | 申請33件     |
| 商工業物価高騰対策支援補助金 | 申請2件      |
| 商工業等経営支援補助金    | 申請5件      |
| 製造業等緊急支援補助金    | 申請26件     |
| 喬木村地域活性化商品券    | 利用率97.87% |
| 喬木村飲食店消費活性化商品券 | 利用率72.94% |

## 不用減って何？

歳出予算の経費の金額のうち、結果として使用する必要がなくなった額で、その合計（令和4年度は1億6千万円）を、年度末精算において予備費に計上。次年度への繰越となる。

単に減額されたから良かったということではなく、不用減が出るということは予定されていた事業が執行されなかったことにも繋がるため、事業遂行を前提として予算編成されていることも考慮すると、減額の要因は明らかにしておくことが大切。



# 議案審議内容

令和5年第1回定例会は、3月3日に開会し、報告議案2件、発議1件、条例議案10件、指定管理者の指定議案1件、予算議案10件の全24議案を審議のうえ全会一致で可決とした。また、請願1件を趣旨採択とし3月22日に閉会した。尚、予算議案10件は予算決算常任委員会に、請願1件は総務産業建設常任委員会にそれぞれ付託審議とした。

## 報告第1号 専決処分の報告について（令和5年専決第1号 斑状歯の治療に対する給付額を定めること）

要旨 治療に対する給付額として314,314円を定める。

## 報告第2号 専決処分の報告について（令和5年専決第2号 令和4年度喬木村村営住宅建設工事変更請負契約の締結について）

変更内容：1 テレビ用アンテナ設置から音声告知放送設備に変更

2 隣地との境におけるフェンス基礎に砕石敷等により土留めを行う

契約金額：298,265,000円（変更前 297,649,000円）

契約先：飯田市 株式会社ヤマウラ 飯田支店

## 発議第1号 喬木村議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

要旨 個人情報保護法が改正され、基本的に地方公共団体の機関から議会が除外されたため、議会独自の条例を制定するため。

## 議案第1号 喬木村情報公開審査会条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 情報公開審査会が行う事務に喬木村議会の個人情報の保護に関する条例の規定による諮問に応じ調査審査することを規定するため。

## 議案第2号 職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 職員の柔軟な働き方の推進に資するよう、勤務時間のフレックスタイム制を導入する等、所要の改正を行うため。

## 議案第3号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 死獣収集に係る手当について新たに設置するため。（作業1件につき500円）

## 議案第4号 喬木村保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 北保育園と中央保育園が統合され、たかぎ保育園が設置されるため。

## 議案第5号 喬木村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 児童福祉施設の設置及び運営に関する基準の一部を改正する省令に伴う改正で、家庭的保育事業について、安全計画の策定を義務付けるため。尚、喬木村において家庭的保育事業所はない。

## 議案第6号 喬木村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 児童福祉施設の設置及び運営に関する基準の一部を改正する省令に伴う改正で、安全計画策定の義務化（1年間は努力義務）と業務継続計画の策定し、それに従っての措置を講ずるよう努める規定。

## 議案第7号 喬木村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額の変更を行うため。変更後の支給額を「48万8千円」とする。尚、産科医療補償制度の掛金「1万2千円」と合わせて令和5年4月からの支給額は「50万円」となる。

## 議案第8号 喬木村国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 新型コロナウイルス感染症に感染した被用者に対する傷病手当金の適用期間を「令和5年3月31日」から「令和5年5月7日」に改める。

## 議案第9号 喬木村営住宅管理条例等の一部を改正する条例の制定について

要旨 クラソ喬木の整備完了に伴い、募集の内容や方法、国の要請に基づく保証人の廃止、敷金の扱いの規定の見直し等、関係する条例における所要の改正。

## 議案第10号 喬木村矢筈コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

要旨 矢筈コミュニティセンター（通称、ビュー矢筈）の現状を鑑み、これを廃止したい為。

## 議案第11号 喬木村さくらの園の指定管理者の指定について

要旨 現在の管理者である、松川町「社会福祉法人親愛の里」を引き続き管理者とする。

## 予算決算常任委員会付託議案

## 議案第12・13・14・15号 令和4年度喬木村補正予算 4議案 議案第16・17・18・19・20・21号 令和5年度喬木村 6会計予算 6議案

### 【本会議議決結果】

以上10議案について、予算決算常任委員会付託審議結果を受け、議案毎に質疑、討論をし、全会一致でそれぞれ可決した。



## 総務産建常任委員会付託議案

## 請願第1号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書

### 【本会議議決結果】

総務産建常任委員会付託審議の結果を受け、趣旨採択に賛成多数、よって趣旨採択とした。

# 総務産業建設常任委員会

委員長 佐藤文彦

3月7日、10時より総務産業建設常任委員会を開催し、請願1件について審査を行った。審議内容は下記の通り。

## 請願第1号

「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書

### 【記書き内容】

1. 政府は、最低賃金法を全国一律制度に改定すること。
2. 政府は、最低賃金の引き上げができ、経営が継続できるように、中小企業、農林水産業への支援策を抜本的に拡充・強化し、国民の生命とくらしを守ること。

説明・質疑の後、自由討議を行いその後、討論に移った。

### 【討論内容】

⇒ 一部採択（1名）

- ・記書き1については意見が割れており難しいが、記書き2については自由討議で出された支援策を盛り込み提出することが望ましい。

⇒ 趣旨採択（3名）

- ・趣旨については理解するが、請願項目を見ると課題も多く、意見書として提出するには調査研究が必要である。
- ・地方、雇主、職種など様々な事情があり、それらを加味した極め細やかな内容とはなっていない。このままでは不安を招く。ただ、このまま賃金格差が続くことも良い訳ではない。

### 【採決結果】

当委員会としては、「趣旨採択」とすることに決した。

### 【主な質疑】

Q 中小企業への支援とは具体的にどのようなことか。

A 詳細は把握していないが、最低賃金の底上げをできるように、何らかの施策を国に考えていただくということ。

Q 中小企業と小規模事業者は違う。最低賃金の引き上げは小規模事業者の方が難しいと考えるが対応は。

A 零細企業の負担とならないよう、事業者負担分を国が補填するなどの補助政策を考えている。

Q 全国一律で1,500円に引き上げるとことを目指しているという理解で良いか。

A 1,300円では生活するだけの金額で余力がない。1,500円には最低限上げていくことが目標となる。

Q 農業者が雇用する場合、季節労働が多く経営規模から考えても一律1,500円は厳しい数字と感じるがお考えは。

A 難しい課題と考える。農業においても所得補償を充実させるなど、時間をかけて様々な支援策を考える必要がある。

Q 農業経営の場合、青色・白色申告、申告しない人などいるが、それを一括りに一律という考えには疑問を感じる。

A 青色、白色、申告しない人で、それぞれに助成の内容に違いがあっても仕方ない。何らかの補助策が必要と考える。

Q 請願書に記載の労働者の定義とは、正規やパート、アルバイトも含めたものか。

A 正規については一般的な賃上げの取り扱いと考える。最低賃金の対象は非正規やフリーランスなど立場の弱い方と受け止めている。

# 社会文教常任委員会

委員長 小川原美智穂

## 社会文教常任委員会が着目する 令和5年度 保健福祉課関連事業



### ▶ がん患者へのアピアランスケア助成事業

- ・補整具等の購入費用を助成（購入費用の1/2を助成、1回の助成で 上限 20,000円）
- ・頭髮補整具（ウィッグ、毛付き帽子等） ・乳房補整具（補整パッド、補整下着、専用入浴着等）



### ▶ 高齢者GPS位置情報サービス利用補助事業

- ・GPS端末（本体および付属品）の購入または、レンタルに要する初期費用の一部を補助
- ・初期費用および付属品の購入費用の全額または、上限 10,000円（利用者1名につき1回限り）



### ▶ 緊急通報サービス事業

- ・事業者の変更⇒サービス内容の充実と利用料金の変更
- ・緊急通報および警備員による駆けつけ ・携帯電話のみお持ちの方も導入可



### ▶ 新生児聴覚検査費用の助成

- ・全ての新生児に聴覚検査を実施し、早期発見早期療育を図る
- ・1回 上限 5,000円を助成



### ▶ 低所得者の妊婦に対する初回産科受診料支援事業

- ・低所得の妊婦の経済的負担軽減を図るとともに当該妊婦の状況を継続的に把握し、必要な支援につなげるため
- ・初回産科受診料補助（一回10,000円）
- ・把握した妊婦について必要な支援が提供されるよう関係機関との連携を図る

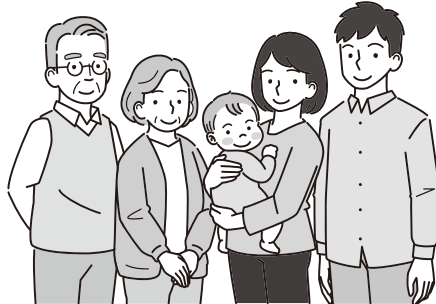


# 議会モニターとの懇談会



## ～どんな村にしていきたいか～

住環境や子育て支援の  
充実で産み育てやすい村



過疎地の再活性化。  
グランピング、キャンプ場  
整備と宣伝。

自然との共生をマッチング  
した特色ある地域づくりを。  
知ってもらい、来てもらう、  
選んでもらう。

喬木村には見どころが  
いっぱいある。村の中を案内  
するような仕事を考えて  
みては。

しきたりや伝統を  
大切に、一方で多様性を  
認め合い、新しい考え方も  
積極的に取り入れる。



高校生が通学しやすい  
公共交通機関の充実。駅まで遠い。  
土日も部活や模試がある。

喬木村は宣伝下手！  
東京方面、中京方面に喬木村の  
良いところの宣伝を。出身地を  
聞かれたら「喬木村」と  
答えよう。

政策として、高速交通網を  
生かした企業誘致で雇用、収入の増加、  
消費の拡大の好循環型社会をつくる。

### 【その他のご意見】

- ◆ 高齢者が元気に暮らせるむら、若者が暮らしやすい村
- ◆ 空き家の増改築による生活空間の提供。土地分譲や村営集合住宅の整備
- ◆ リニアにより都会と田舎の往来が容易になる。田舎の方が住みやすく、子育てが安心。
- ◆ 集落独自の文化を強要する空気は住みにくいとを感じる。移住者が明るく参加できるような空気をつくる。
- ◆ 団体様の来村に、食事ができるレストラン、食堂など。地消でランチの提供ができる。
- ◆ 子どもたちが遠くに行くのを止めるのではなく、誇りをもって戻って来て住める環境づくり。
- ◆ 運動公園、小・中グラウンドを使い、少年野球、サッカー大会を招致しスポーツの村に、はどうか。
- ◆ 小学校は統合すべきではないか。
- ◆ 若者の希望が叶えられることが大事。離れて暮らす学生にも意見を聞く機会を。中学生との交流は続けること。
- ◆ 世界情勢を鑑み、早急なる危機管理整備が必要（水・食糧・医療現場の電源消失・運輸、移動手段の完全麻痺・情報通信の完全遮断・放射能対応マニュアル・消防活動、トイレ対策等あらゆる事態対応）
- ◆ 何かあれば税金で、ではなく村政に関心をもち、自分たちのことは自分たちで考え、自分たちでやれることはやる、という形になるといい。



# 議員と語るう会



## 第1ステージ 高齢者福祉・介護等について

高齢者クラブの  
会員減少、サロンなどボラン  
ティアの担い手不足、役員の  
なり手が無い。

居宅のケアマネを  
しているが、金銭の問題で  
介護サービスを受けない  
方が増えている。

介護保険、介護福祉の  
ためには予防に力を  
入れることが大切だ。

健康体操教室は  
費用も安く、村の取り組み  
はありがたい。他町村の人  
からうらやましがられる。

高齢者が農業を担って  
いる。若い方が農業に取り組  
むことができる体制を築いて  
いただきたい。

介護の仕事は専門職が必要だ。  
包括支援センターの仕事は容量  
オーバーしているのではないか。

組合の仕事ができなくなり、  
組合を抜けた個人には村の広報誌が  
届かない。設置場所に取りに来て、と  
言われるがそこまで行けない人も  
いる。手に入れられるように  
してほしい。



### 【その他のご意見】

- ◆ 高齢者クラブ会員の減少により支会の継続ができなくなり、支会の減少。
- ◆ 高齢者クラブは親睦交流が主体で、福祉問題などの学習はできていない。
- ◆ 福祉＝幸せと思う。高齢者もインフレで生活に苦勞している。お金が重要だ。  
高齢者の福祉に対して、お金の面でフォローしていただくシステムを考えていただきたい。  
団塊の世代の皆さんも定年延長などで忙しくしている。家族のあり様も様変わりしている。
- ◆ 認知症の方、高齢者の二人暮らしの問題が増えている。二人暮らしの一人に介護が必要になった時の問題がある。
- ◆ 住んでいる地区ではデイサービスなど利用している人が少ない。高齢者同士の情報交換、行政の説明不足があるのではないか。
- ◆ 介護予防では、ほっ湯アップルでの水泳教室が行なわれている。会員数は今も減っていない。
- ◆ 知人のことで行政が親身になって支援の体制を一緒に考えてくれた。取り組みが良くわかった。今後も福祉を進めてほしい。
- ◆ 村の情報誌など個人に送料をいただいて届けることもできるのではないか。
- ◆ 生活支援コーディネーターなど正規の配置を望む。T村では臨床心理士が配置されている。
- ◆ 申請主義ではあるが、介護申請が遅すぎたと感じる事例がある。そういう方を早くに制度につながるようフォローできる体制が必要。
- ◆ 介護度が低くてもおむつが必要で経済的に負担。T村では所得制限なしで3,000円のおむつ代の補助がある。
- ◆ 認知症高齢者の行方不明者が出た時の対応はできているのか。声をかける練習などできるといい。

## 議員全員協議会の論議 その後

### ○ 「井水」の課題について

村内の井水組合等に、管理の現状等について4月にアンケート調査を行い、課題解決に向けた取り組みを進めていく。

### ○ 「学校指定の運動着が高い。補助を」について

運動着のみでなく、子育て支援について、北部5町村4月にアンケート調査を行い、比較検討する中で、本村の支援について研究していく。



中学校の部活動の地域移行について

後藤 澄壽 議員



Q 村として部活動の地域移行についてどのような取り組みを行っているのか。

A 部活動の地域移行については、飯伊教育委員会協議会などで情報交換などしながら、今後の進め方を検討している。村としても、地域移行の運営の母体づくり、誰に部活動指導をお願いするかなど、課題を明らかにし、実施にむけた検討をしているところである。

■農業と福祉の連携、農福連携について



水道事業の運営について

櫻井 登 議員



Q 有収水量減少は収益率低下に及び諸物価高騰は事業運営のコスト高となる。今後の水道料金値上げの見通しを聞く。

A 水道事業は下水道事業との兼ね合いから、下水道事業の料金改定を優先させるものとし、令和4年度から7年度にかけて、下水道使用料の段階的な改定の完了後に検討するものとして、令和7年度以降の改定を予定している。審議会において承認をいただいている。

■水道事業の近隣自治体との共同体制について



物価高騰による今後の行政運営の見通しについて

下平 貢 議員



Q 物価高騰に対する令和5年度予算の特徴は

A 行政は、大きな施設をいくつも抱えている。電気代の高騰は、家計とは違い何千万単位での予算を組まなければならない。また各業界とも大変厳しい状況を抱えている。国の対策の動向を見極めながら、各支援策も探るとともに、イベントなどを通じ活力ある喬木村の再スタートの年となるような予算とした。

■物価高騰による財政運営への影響と対策、関連質問2件。



保育園でのおむつの持ち帰りについて、園での処分は。

福澤 真理子 議員



Q 保護者の負担と感染対策上の問題、保育士の負担も指摘されている。厚生労働省の通知が出たが、村の考えは。

A 厚生労働省の通達を受け、村としても使用済みおむつを保育園で処分する方向で準備を進めている。使用済みおむつの保管場所について、園内で感染症の温床をつくることのないよう慎重に検討を進めており、6月定例会を日途に上程する。子どもの健康状態については、密な情報共有を図るよう努めていく。



今後の村政の方向性について

小川原 美智穂 議員



Q 行政が向かっている、目指している方向性や村の未来図はどんなものか。それをどう村民と共有していくか。

A 令和5年度当初予算では、様々な年代 所属などの方々に参加いただいて「むらづくり村民意見交換会」を開催していきたい。特に将来を担う若い世代の皆さんには積極的に参加いただき、情報を共有する中で意見を出し合っていただくことで、村政への関心を高めていく、そして深めていく。この村への愛着を更に高めていただく「ここに住んでよかった」これは一大テーマだが、そう思っただけのことを求めていきたい。

■広域の中でどんな役割を担っていくのか。

■村の強みをどう行政運営につなげるのか。



住みたいと思える村づくり 当村の空き家対策について

福澤 一成 議員



Q 空き家状況調査での当村の空き家対策としてのお試し移住について伺う。

A 移住相談において、村での生活体験は大事と思っており、この村でもお試し移住の整備は必要と思います。村では活用可能な空き家61件に対して、現在所有者等にお試し移住についてのアンケート調査も行い、移住、二地域居住など関係人口増加に繋がるよう、来年度お試し住宅改修費も予算計上した。

■空き家の状況について

■老朽化等の空き家の解体補助について



# 和の心をもって器の道を歩む

株式会社ふくやま 福山尚樹

日頃よりお世話になっております。当社はリニア新幹線進路上に当たり令和5年5月に阿島区から伊久間区へ本社工場を移転致します。関係業者並びに近隣の皆様には多大なご理解とご協力を賜りこの場をお借りして御礼申し上げます。



大正6年に最中種（もなかの皮）製造業として当時の鼎村で創業し、昭和59年に阿島区へ工場を建設いたしました。大きな農道もなく近くから牛の声がするのどかな場所でした。それから30数年余り、喬木村の発展と共に取引先に支えられ業績を確保する事ができました。今回移転先を探すにあたり、父である社長と迷いなく引き続き喬木村でお世話になることを決めました。自然と空気と水に恵まれたここ喬木村ならば、これからも末永く仕事を続けられる事を確信しております。

自然と空気と水に恵まれたここ喬木村ならば、これからも末永く仕事を続けられる事を確信しております。

先日喬木中学校の生徒さんにお話をさせていただく機会があり、業務内容と共に「強みを活かす」というお話をいたしました。私達の製造しているもなかの皮は主役になることはありません。しかし、脇役として様々な食材を活かす事のできる商材と思っています。現在は地元業者のみならず、日本全国、そして海外へも輸出しマーケットを拡大しているところです。新工場を携え、当社の強みを活かし、喬木村にしっかりと貢献できるよう仕事に邁進する所存です。今後とも引き続きよろしくお願ひいたします。



## 議会日誌

- 1月**  
19日 飯伊市町村議会議員研修会
- 2月**  
7日 全員協議会・議員全員協議会  
16日 議会モニターとの懇談会
- 3月**  
3日 令和5年第1回定例会開会  
全員協議会・議員全員協議会  
7日 各常任委員会  
12日 定例会一般質問  
14日 予算決算常任委員会  
20日 議員と語ろう第1ステージ  
22日 定例会閉会・議員全員協議会
- 4月**  
6日 総務産業建設常任委員会・  
社会文教常任委員会

- 今後の予定
- 4月**  
18日(火) 全員協議会・議員全員協議会  
25日(火) 議員全員協議会
  - 5月**  
18日(木) 議会モニターとの懇談会  
未定 全員協議会・議員全員協議会
  - 6月**  
未定 令和5年第2回定例会開会  
全員協議会・議員全員協議会  
未定 定例会一般質問  
未定 各委員会  
未定 定例会閉会・議員全員協議会
  - 7月**  
未定 全員協議会・議員全員協議会

表紙写真の説明  
各地の祭典も本格始動。地域活動再開に期待が  
ふくらむ。



柔らかな日差しにつつまれ、例年になく早い春の訪れ、ふるさとに祭囃子の音も戻りはじめた。卒業式、入学式、たかぎ保育園の開園とコロナ以前の形式での祝行事が執り行われ、目の前の閉ざされていた扉が開き始めた様子がする。

しかし、コロナウイルス自体が衰えているわけではなく、今後も感染対策には十分な注意が必要と思われる。

村では子育て支援や関係人口の創出に取り組む中、住んでいる皆さんが楽しいと思える村づくりを目指している。議会としても未来を見据えて共に住みよい村づくりを考えたい。  
(福澤 一成)

### 編集委員会

- 委員長 福澤眞理子
- 副委員長 福澤 一成
- 委員 下平 貢
- 委員 佐藤 文彦
- 委員 小川原美智穂